

昭和15年 秋季慰靈大祭

護  
司

## 終戦記念日祭宮司挨拶

宮 司 額 田 照 彦

本日の、終戦記念日祭に際しましては、関係諸団体・友好団体の皆様にはご多用の中、ご参列賜りまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

また、日頃より英靈の慰靈顕彰、神社の護持運営には格別のご高配を賜り有難く重ねて御礼申し上げます。只今ご神前に謹みまして皇室の弥栄と、先の大戦において国のために尊い命を捧げ散華され護國の御靈となられた英靈に対し、報恩感謝と御靈の安鎮、国家国民の安全、世界平和をご祈念申し上げました。

大東亜戦争終結七十年の節目の年にあたる本年、当護國神社におきましても、例年よりも多くの参拝があり、これが一過性のもので終わってはならないと想いを強くしております。

本年は、大東亜戦争終結七十年の極めて意義深い年であります。

## 御祭神數

当神社に御鎮祭申し上げております  
御祭神は四万九千七百一十七柱です。

祈念資料室の設置を予定しております。

展示方法については、只今遺族会と検討中

ではあります、次代を担う世代に対し、国

のため、また家族を想い散華された、英靈の

ご遺徳と、先人の苦難の歴史を正しく伝え、

靖國神社・護國神社が国家の平和と御靈の安

鎮を祈念する神社であることを改めて認識し

て頂く機会となるものと考えております。

また大東亜戦争終結七十年を期して、英靈

を慰靈顯彰することは、日本人の精神的基盤

を確立するために欠かせぬ事であり、国民が

齊しく先人の歩みに感謝の念を抱くことが、

我が国が道義あるべき姿に復してゆく根幹と

なるものと思っております。

終わりに、本日の終戦記念日祭に東・中・

南予から、愛媛県神道青年会の青年神職の皆

様にご助勢を賜ったことは、御祭神のご出身

が愛媛県全域であることからも、七十年の節

目にふさわしい、非常に意義のある終戦記念

日祭が斎行できたことと想います。



愛媛縣護國神社崇敬会  
会長 愛原 章

## 海に墓標を

昨年の十月、遺児の有志で神戸市の「戦没

した船と海員（船員）の資料館」を訪ねた。

松山市の戦没者名簿を作りながら思うのだが、  
軍属で戦没した方達には、陸・海軍の徵庸船  
や、徵用船として一時軍務に付いた船等に乗っ  
ていた方が多い。

終戦後に政府が発表した沈没船の数は、漁  
船・機帆船を含めると七千隻を超えて、海没し

た海員は六万

人（乗船して  
いた将兵等を  
入れると二十  
三万人）を超  
えるという。

寒風肌を刺

す北海から、  
炎熱鉄をも溶  
かす赤道直下  
の南洋まで、  
広大な海洋を

舞台として兵員、武器・弾薬、その他軍需や  
民需物資等の輸送に、海員達は日夜身を挺し  
て活躍したが、熾烈な武器無き戦いを強いら  
れ、その尊い命を蒼海深く沈めたまま、ふた  
たび帰って来ることはない。

展示してある沈没船の写真からは、海に墓  
標をと叫んでいる海員や、乗船していた将兵  
等の声が聞こえて来るようであった。

戦後七十年、八千人を超える松山市の戦没  
者名簿がやっと完成するが、この方達の戦没  
年月日や戦没海域から割り出した徵庸船等の  
船名と、沈没状況（潜水艦による雷撃、航空  
機による空爆等）を、参考までに付記してお  
くことにした。

海行かば水漬く屍……と、自然に口ずさむ  
日々であったが、それも終わりに近づいた。  
どうかこの名簿で、皆様には戦没海員や志半  
ばで海没した将兵等を偲び、御靈に安らかな  
眠りを与えて欲しいと思っている。

幸いなことに今年度は日本遺族会が、終戦  
七十年記念事業として四百人規模の洋上慰  
靈を実施する。戦没者遺児で希望があれば、  
早めに愛媛県遺族会の事務局へ申し出て、相  
談して欲しい。既に百五十人位の希望者が出  
ていると、日本遺族会からは聞いている。

# 日本の大きな区切り

“終戦七十年”

愛媛県遺族会

会長 関 谷 勝 嗣



先般、終戦七十年に当たり、安倍晋三総理の談話が発表されました。世界注視のもとでの発表でしたが、実に立派な内容でありました。

日本が経済ブロック化で世界から排除されやむを得ず戦争という暴挙に出、アジア諸国や、その他オランダ（特に国名をあげ）をはじめヨーロッパにも大変なる苦痛を与えたことに心から陳謝し、その後七十年間の日本が

民主主義国家として、世界平和のために努力したことを述べ、はつきりと陳謝いたしました。

「ではないか」等、感情論から始まっているようでは。そんなことは絶対にあり得ません。現在、一国だけでは国の安全を確保することは出来ません。各国間の安全保障協定のもとお互いに助け合って、初めて国民の生命、財産、安全を確保することが出来るのです。

今や日本国民の八十%が、戦争を知らない世代となりました。その上で安倍総理は「次世代の若者には我々が背負ってきた負の遺産は引き継がせたくない」と明言されました。このことが一番重要であり、村山談話や小泉談話にはなかつた事項です。

先程述べましたが、戦争を知らない人口が八十分に達した今日、遺族会の役割はますます大きなものとなつてまいりました。遺族会の役割は三つあり、一つが慰靈顕彰、二つ目が遺家族に対する処遇改善、三つ目が平和の尊さを未来永劫に伝えることにあります。遺族も高齢化し、会員数も少なくなつてしまりました。残された我々が、戦争の虚しさと平和の尊さを伝えて行かなければなりません。

現在、国会で安全保障関連法案が審議されています。反対者の意見を聞いてみると、「戦争になるのではないか、徴兵制になるの

神社の記念事業に特段のご支援を戴きますようお願いいたします。

改めて御靈の安らかなることをお祈り申し上げます。

## 「終戦七十年記念事業」に

### 皆様方の魂を!!

英靈にこたえる会愛媛県本部

会長 佐伯 要



先の大戦から節目の七十年を迎えた。この七十年には、大きな貴重な教えがあると思います。

一つには、現在の日本の繁栄と自由は、多くの戦没者の尊い犠牲の上に、さらに日本人の教育勅語の精神により成り立っているということを忘れてはなりません。

二つには、実際に戦争を体験した、その状況を次世代に正しく語り継ぐ事が必要であります、経年と共に体験者がやがていなくななる時が来ます。この現状から私共遺族は、犠

牲となつた御靈について正しく伝えていく責任があります。この様な時の流れの中で将来、先の戦争が現代史から歴史の分野へと移つて行くものと思います。

この度「終戦七十年記念事業」として護國神社の改修等が予定されています。神社内に祈念史料室が設置され、ご遺族がいつこられても御靈にお目にかかる環境が整います。

是非ご協力を願い申し上げ、正しい歴史を後世に伝えて戴きたいと存じます。

平成二十三年から「英靈にこたえる会 愛媛県本部」の会長を務めさせて戴いておりましたが、私も先の大戦で最後の遺児として育ちました。当年とて、七十一歳となります。上京の際には時間をみつけて靖國神社へ参拝をしておりますが、その気持ちを大切にしてまいりたいと思います。

私が誕生した日の愛媛新聞に「ああ神風特別攻撃隊敷島隊」の見出しでフィリピン沖海戦スルアン島沖で大戦果をあげた記事があります。どの様に解釈すれば良いかは別にして、特攻隊の国を思い、家族を守ろうとした精神を少しでも良いですから持ちたいものと常に思います。

## 『戦友団体等による慰靈祭』

### 『遺族会等による慰靈祭』

平成二十七年

四月六日 西条市国安

四月七日 西条市中川

四月十一日 西条市徳田

四月十五日 今治市大西町

四月十五日 西条市周布

四月二十日 西条市三芳

四月二十三日 西予市野村町中筋

四月二十四日 今治市朝倉

四月二十四日 今治市吉海町

四月二十五日 松山市正岡

五月十五日 松山市戦没者遺児有志の会

五月二十六日 西予市野村町野村地区

六月二日 四国中央市土居町長津

六月二十六日 西予市野村町渕筋

六月二十八日 富山丸

七月一日 今治市宮窪町

七月十四日 大洲市白滝

八月五日 愛媛県立松山城北高等女学校

平成二十七年

四月十九日 愛媛甲飛会

五月一十三日 愛媛シベリアを語る会

五月二十七日 殉職消防職団員



# 正式参拝

☆平成二十七年四月二十六日

政治結社國彰挺身隊

愛誠國同志會

蒼心聯盟

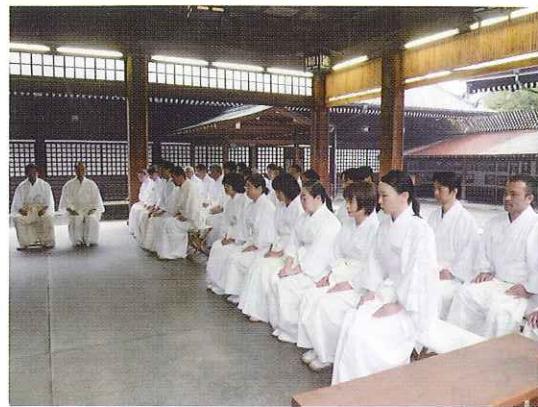
政治結社國彰挺身隊

政治結社愛誠國同志會

政治團體蒼心聯盟

政治團體蒼心聯盟

計三十五名



☆平成二十七年五月十八日

愛媛県遺族会女性部

会長 関谷勝嗣様

女性部長 清家征子様

計二十名

☆平成二十七年七月十日

英靈にこたえる会愛媛県本部

会長 佐伯 要様

計三十名



☆平成二十七年四月二十日

中予地区祭式研修会

愛媛県神社序

理事 立野好仁様

計二十五名

☆平成二十七年六月十六日

愛媛県遺族会評議委員会

会長 関谷勝嗣様

会長 関谷勝嗣様

計二十名

☆平成二十七年五月二十八日

愛媛県遺族会理事会

会長 関谷勝嗣様

会長 関谷勝嗣様

計二十名



☆平成二十七年六月十六日

愛媛県女子神職会

会長 井上初美様

会長 井上初美様

計十五名

☆平成二十七年七月十五日

伊曾乃神社敬神婦人会

会長 堀川修巧様

会長 堀川修巧様

計十五名

☆平成二十七年七月十五日

宇和島支部長 久保盛浩様

会長 曾根貞義様

会長 曾根貞義様

計二二〇名

☆平成二十七年七月二十六日  
才野俊輔君神道章授与に伴う

ボーカスカウト松山第十六団  
団委員長 小島伸治 様

隊員 才野俊輔 様

計三十名



☆平成二十七年八月二日  
サクラメントスカウト  
ウエルカムパーティ

団委員長 小島伸治 様

サクラメント隊  
隊長 ウォルフ 様

計六十名

☆平成二十七年八月三日  
表具師

端 和夫 様

愛媛県瓦工業組合  
理事長 山下哲夫 様

☆平成二十七年八月九日  
計十八名



☆平成二十七年八月十一日  
神道青年四国地区協議会  
設立二十周年

会長 熊代雄一郎 様

実行委員会

委員長 清家貞文 様

計三十二名

☆平成二十七年八月九日  
愛媛万葉苑 清掃奉仕  
三宅浩正後援会事務所  
代表 三宅浩正 様

☆平成二十七年八月九日  
計十四名

☆平成二十七年八月九日  
まつやま山頭火俱楽部  
理事長 熊野伸一 様

計三名

☆平成二十七年八月十三日  
愛媛県神社庁松山支部  
終戦七十年に際し  
支部長 渡辺定詔 様

総代会長 安永 成 様

計二十五名

☆平成二十七年八月二十三日  
大分縣護國神社  
宮司 小野日隆 様

☆平成二十七年八月十五日  
伊豫豆比古命神社  
権宮司 長曾我部昭一郎 様

☆平成二十七年八月十五日  
愛媛県神社庁周桑支部  
支部長 桐野正信 様

総代会長 武田 功 様

計二十五名

☆平成二十七年八月二十五日  
靖國神社みたままつり参加者  
愛媛県遺族会  
会長 関谷勝嗣 様

参加者代表 一色茂美 様

計二十四名

☆平成二十七年八月三十一日  
愛媛県神社庁周桑支部

支部長 桐野正信 様

総代会長 武田 功 様

計二十五名

## 愛媛縣護國神社終戦七十年記念事業奉賛のお願い

愛媛縣護國神社は、明治三十二年の創建以来戊申の役から大東亜戦争終結までの県内御出身の英靈をはじめ、産業文化発展の功労者、公務殉職者を奉斎致しております。

本年八月十五日に終戦七十年を迎えるにあたり、境内整備として記念事業を計画致しております。

然し乍ら本事業完遂には総額三億円を超える多額の御淨財を要します。つきましては厳しい社会情勢の中、誠に心苦しい御願いで御座いますが、御靈の安鎮と平和の尊さを次世代に伝えるため、多くの皆様方の御篤志を仰ぎたく何卒御協力賜りますよう懇願申し上げます。

詳しくは、社務所へお問い合わせ下さい。

愛媛縣護國神社宮司 額田照彦

愛媛縣護國神社社務所  
二十九〇一〇八二四  
松山市御幸一丁目四七六番地  
電話(〇八九)九二五一一三五三